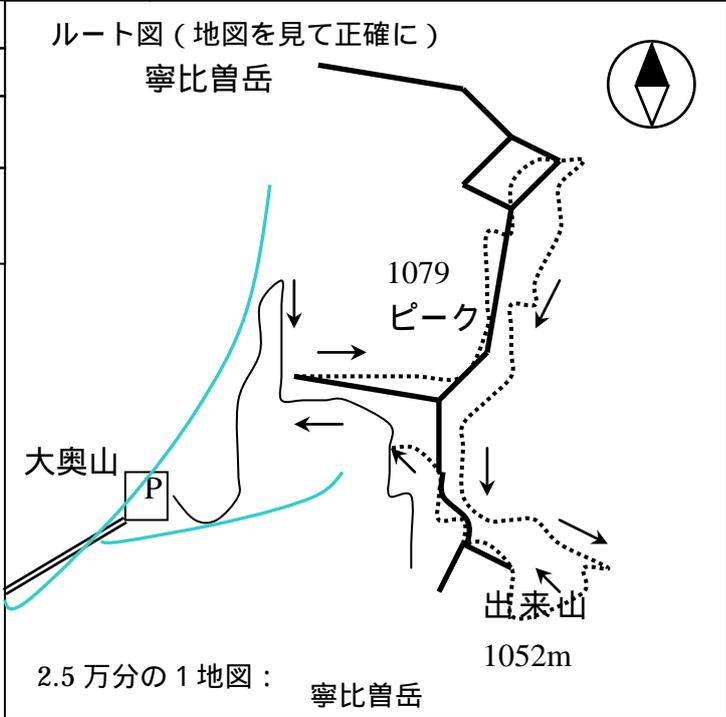


12 月度 例会 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	CL : 中山 正夫
個人		報告日	1 / 13		
山 域	奥三河	山行日	09 年 1 2 月 27 日 (日)		
山 名	出来山				

山行目的	バイク単独で藪こぎ登山	コースタイム (天候 : 天気図記号)
------	-------------	-----------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー -
原紙: 集
会担当者



12/27(日) 晴れ
06:30 自宅発
豊田 足助 金蔵連
08:00 大奥山登山口着
08:15 大奥山発
09:25 ~ 30 休憩(藪尾根
途中)
11:10 出来山頂上着
11:15 頂上発
12:10 ~ :20 休憩(藪尾根
入口)
12:50 大奥山登山口着
13:00 大奥山発
御内町 下山 岡崎
自宅 14:30 着



出来山頂上

山行報告 12/27(日)6:30 自宅発で豊田 足助 大奥山の林道ゲート前にバイクを止める 8:15. しっかり着込んだ服を軽装に着替える。沢沿いから大きくカーブした林道を詰めて、東南東の出来山に向かう顕著な尾根の末端に着く。このまま林道を行くか、藪こぎ覚悟で尾根を行くか少し悩む、結局尾根を選ぶ。最初は古い踏み跡があり順調に登れたが、尾根の中間あたりから、藪がきつくなって来る。枝尾根に入り込まないようにひたすら高い所を歩く。濃密な熊笹に阻まれ現在位置不明、結局 2 月にリングワンデリングをやってしまった、二重山稜まで来てしまった。ちょっと不安。どうも、北よりに進みすぎてしまい、出来山は南に向かわなければならない。稜線の藪こぎはあきらめて、一旦設楽側の林道に出て南に向かう。KDD 管理地の看板からゆっくり回り込んだ林道を登り、11:15 に広い電波塔跡地の横にある一等三角点の出来山頂上着。下山はどうしても主稜線を藪こぎして、途中から西の足助側に下り西北西に延びる林道に出ないと帰れない。地図をじっと睨む。意を決して藪突入、頃合を見計らい西側の沢を下り無事林道に出る。藪尾根取り付点まで戻り休憩 12:10。来た林道をバイクまで戻り 14:30 自宅着。

(感想) 2 月に寧比曾岳から出来山へ行こうとして、リングワンデリングの場所に再度逆方向からチャレンジしてわかったことは、二重山稜の地形と藪のすごさによる視界不良が合わさった読図ミスだった。最近、奥美濃の藪こぎ山行から遠ざかり、カンも鈍っていたのかとも思う。

リーダー所見 足助側からは登山道がないことは、想定内の計画だったので、思うとおり藪を堪能し登頂出来てよかった。10ヶ月前の地形の読み違い、錯覚を今回正せたのはよかったと思う。読図の勉強と手足を使った全身運動にもなったと思う。次は段戸山、岩岳あたりを狙ってみたい。

凍え指バイクの熱で融かして
藪こぎの遙か彼方になにがある
リベンジと思う前この充実感
沖山

確認
(リーダー)
中
10/01/11
山
作成
(報告者)
中
10/01/11
山